

甲 第 号

須賀 佑磨 学位請求論文

審 査 要 旨

奈 良 県 立 医 科 大 学

論文審査の要旨及び担当者

| | | | |
|---------|----------|-----|-------|
| | 委員長 | 教授 | 城戸 顕 |
| 論文審査担当者 | 委員 | 准教授 | 小川 宗宏 |
| | 委員(指導教員) | 教授 | 田中 康仁 |

主論文

Factors associated with the increased risk of atlantoaxial osteoarthritis: A retrospective study

外側環軸関節の関節症性変化のリスク増加に関連する要因; 後ろ向き研究

Yuma Suga, Hideki Shigematsu, Masato Tanaka, Akinori Okuda,

Sachiko Kawasaki, Yusuke Yamamoto, Masaki Ikejiri, Hideki Asai,

Hidetada Fukushima, Yasuhito Tanaka

European Spine Journal. 2022 Dec;31(12):3418-3425.

須賀 佑磨、重松 英樹、田中 誠人、奥田 哲教、川崎 佐智子、山本 雄介、

池尻 正樹、浅井 英樹、福島 英賢、田中 康仁

European Spine Journal 第31巻 12号 3418項~3425項 (2022.12)

論文審査の要旨

外側環軸関節の変形性関節症は、頸部痛や後頭部・後頸部痛みの原因となるが、初期症状は非特異的で、診断が遅延する症例も多く認める。変形性外側環軸関節症の診断には、開口位レントゲンや CT が有用であるが、どのような要因を持つ患者で外側環軸関節の変形性関節症のリスクが高く、開口位レントゲンを行うべきかについての知見はない。本研究は、変形性外側環軸関節症に関与する要因を調査し、どのような患者に開口位レントゲンを施行すべきかを明らかにすることを目的とした。多変量ロジスティック解析で、60 歳以上:オッズ比(OR) 20.5、横靭帯の石灰化の存在:OR 4.9、女性である:OR 3.3、正中環軸関節の関節症性変化がない:OR 2.1 ということが変形性外側環軸関節症の発生に関わる要因であった。後頭部～後頸部痛を有する①60 歳以上、②女性、③横靭帯石灰化を有する、④正中環軸関節の関節症性変化がない場合には、変形性外側環軸関節症を有している可能性があり、開口位レントゲンの撮影の追加を考慮すべきである。公聴会では本病態に着目した経緯、バイオメカニカルな病態、無症候性の例の頻度、(保存治療が奏功せず)手術治療に至るリスク因子などについての質問に的確に回答された。この結果は、整形外科医にとっては頸部痛の診断の一助になり、その発展につながる有意義な臨床研究であると評価され、博士(医学)の学位に値すると考える。

参 考 論 文

1. Tetanic stimulation of the peripheral nerve augments motor evoked potentials by re-exciting spinal anterior horn cells
Yusuke Yamamoto, Hideki Shigematsu, Masahiko Kawaguchi, Hironobu Hayashi, Tsunenori Takatani, Masato Tanaka, Akinori Okuda, Sachiko Kawasaki, Keisuke Masuda, Yuma Suga, Yasuhito Tanaka. J Clin Monit Comput. 2022 Feb;36(1):259-270.
2. Transcranial electrical stimulation motor-evoked potentials rescue from postoperative neurological deficit due to inadequate neck position for the case of lumbar surgery with asymptomatic cervical stenosis
Hideki Shigematsu, Tomoshige Miyabayashi, Sachiko Kawasaki, Yuma Suga, Yasuhito Tanaka. Eur Spine J. 2022 Dec;31(12):3731-3735.
3. 当院における特発性硬膜外血腫の治療経験
木村 喜美太, 重松 英樹, 川崎 佐智子, 須賀 佑磨, 山本 雄介, 田中 康仁. 中部日本整形外科災害外科学会雑誌. 65 巻 1 号 Page157-158(2022.01)
4. 急性発症した Arachnoid Web の 1 例
百田 吉伸, 田中 誠人, 山本 雄介, 須賀 佑磨, 川崎 佐智子, 重松 英樹, 田中 康仁. 臨床整形外科. 57 巻 2 号 Page199-202(2022.02)
5. 手術症例の特発性側彎症児童が抱く Self-image の検討 非手術症例との比較 予備的研究

重松 英樹, 田中 誠人, 川崎 佐智子, 須賀 佑磨, 山本 雄介, 田中 康仁.
臨床整形外科. 57 卷 1 号 Page99-102 (2022.01)

6. The critical cutoff point of the Zurich Claudication Questionnaire and the Japanese Orthopaedic Association score indicating locomotive syndrome in patients with lumbar spinal canal stenosis

Masafumi Araki, Hiroshi Nonoshita, Shuji Kitano, Hideki Shigematsu, Masato Tanaka, Sachiko Kawasaki, Yuma Suga, Yusuke Yamamoto, Yasuhito Tanaka. J Orthop Sci. 2021 Mar;26(2):290-294.

7. Alternate In-Brace and Out-of-Brace Radiographs Are Recommended to Assess Brace Fitting and Curve Progression With Adolescent Idiopathic Scoliosis Follow-Up

Sachiko Kawasaki, Prudence Wing Hang Cheung, Hideki Shigematsu, Masato Tanaka, Yuma Suga, Yusuke Yamamoto, Yasuhito Tanaka, Jason Pui Yin Cheung. Global Spine J. 2021 Jul 15.

8. Can the loco-check be used as a self-check tool for evaluating fall risk among older subjects? A prospective study

Hideki Shigematsu, Makoto Wada, Shigeki Miyata, Osamu Kisanuki, Hideaki Tatsumi, Kiyoyuki Nishimori, Ryota Hara, Masato Tanaka, Sachiko Kawasaki, Yuma Suga, Yusuke Yamamoto, Akinori Okuda, Yasuhito Tanaka. J Orthop Sci. 2021 Sep;26(5):891-895.

9. 脊椎転移に対する palliative surgery 後に放射線照射を加えない要因はどこ

にあるのか?

重松 英樹, 田中 誠人, 川崎 佐智子, 須賀 佑磨, 城戸 颯, 田中 康仁.
中部日本整形外科災害外科学会雑誌. 64 巻 4 号 Page499-500(2021.07)

10. 原発診療科は整形外科に何を求め,どのタイミングで骨転移患者を紹介する
のか? 骨転移相談外来導入後1年の検討

杉本 啓紀, 重松 英樹, 城戸 颯, 藤井 宏真, 田中 誠人, 塚本 真治, 川
崎 佐智子, 倉田 慎平, 須賀 佑磨, 山本 雄介, 田中 康仁. 臨床整形外
科. 56 巻 8 号 Page1087-1092(2021.08)

11. 経験と考察 脊髄造影検査では有害事象は起こりうるのか 後ろ向き観
察研究

重松 英樹, 辻本 憲広, 田中 誠人, 川崎 佐智子, 須賀 佑磨, 田中 康仁.
整形外科. 72 巻 8 号 Page838-840(2021.07)

12. 上位胸椎の迂りに伴った胸髄症の1例

吉井 肇, 須賀 佑磨, 田中 誠人, 重松 英樹, 川崎 佐智子, 田中 康仁.
中部日本整形外科災害外科学会雑誌. 64 巻 3 号 Page391-392(2021.09)

13. 近位型頸椎症性筋萎縮症に対する術後成績

美波 直岐, 山本 雄介, 重松 英樹, 田中 誠人, 須賀 佑磨, 田中 康仁.
整形外科. 72 巻 7 号 Page735-738(2021.06)

14. 経験と考察 脊髄損傷患者の転帰 奈良県2018年度調査

池尻 正樹, 重松 英樹, 田中 誠人, 川崎 佐智子, 須賀 佑磨, 山本 雄介,

増田 佳亮, 奥田 哲教, 田中 康仁. 整形外科. 72 卷 7 号
Page731-734(2021.06)

15. 日本人特発性側彎症患者における Distal Radius and Ulna(DRU) Classification を用いた骨成熟度評価
山本 雄介, 重松 英樹, 田中 誠人, 奥田 哲教, 川崎 佐智子, 須賀 佑磨, 増田 佳亮, 田中 康仁. 56 卷 1 号: 103-110(2021.01)
16. Refractory Pyogenic Spondylitis Subsequent to Vascular Graft Infection: A Case Report
Yuma Suga, Hideki Shigematsu, Jin Iida, Nobuhisa Sato, Masato Tanaka, Sachiko Kawasaki, Yusuke Yamamoto, Yasuhito Tanaka. Spine Surgery Related Research. 2020 Aug 20; 5(4): 302-306.
17. Comparison of Modified Marmot Surgery and Lumbar Spinous Process Splitting Laminectomy in Lumbar Spinal Stenosis: Two-Year Outcomes
Keisuke Masuda, Hideki Shigematsu, Masato Tanaka, Sachiko Kawasaki, Yuma Suga, Yusuke Yamamoto, Eiichiro Iwata, Akinori Okuda, Yasuhito Tanaka. Spine Surg Relat Res. 2020 Oct 22;5(3):165-170.
18. Is brace treatment unnecessary for cases of adolescent idiopathic scoliosis above Risser sign 3?
Sachiko Kawasaki, Hideki Shigematsu, Masato Tanaka, Yuma Suga, Yusuke Yamamoto, Yasuhito Tanaka. J Orthop Sci. 2020 Nov;25(6):975-979.

19. Hypoalbuminemia Increased the Length of Stay in the Treatment of Postoperative Acute Surgical Site Infection in Spinal Surgery
Yusuke Yamamoto, Hideki Shigematsu, Eiichiro Iwata, Hiroshi Nakajima, Masato Tanaka, Akinori Okuda, Sachiko Kawasaki, Yuma Suga, Keisuke Masuda, Yasuhito Tanaka. Spine (Phila Pa 1976). 2020 Dec 1;45(23):E1564-E1571.
20. Affirmative answers on loco-check as a predictor of health-related quality of life and locomotive syndrome progression in the elderly: A cross-sectional study
Hideki Shigematsu, Masato Tanaka, Mitsuru Munemoto, Sachiko Kawasaki, Eiichiro Iwata, Akinori Okuda, Keisuke Masuda, Yusuke Yamamoto, Yuma Suga, Yasuhito Tanaka. Mod Rheumatol. 2020 May;30(3):580-585.
21. 1年間(2018年度)の奈良県における急性期脊髄損傷の発症状況調査
池尻 正樹, 重松 英樹, 田中 誠人, 川崎 佐智子, 須賀 佑磨, 山本 雄介, 増田 佳亮, 奥田 哲教, 田中 康仁. 整形外科. 71 巻 12 号 Page1245-1248(2020.11)
22. 癌治療科主治医は癌の脊椎転移に対し,脊椎外科医に何を期待しているのか? 当院の意識調査から
田中 誠人, 重松 英樹, 城戸 顕, 川崎 佐智子, 須賀 佑磨, 山本 雄介, 田中 康仁. 臨床整形外科. 55 巻 10 号 Page1127-1131(2020.10)
23. 臨床室 腰痛発生早期の MRI では診断できなかった腰椎化膿性脊椎炎の

1 例

西村 優輝, 重松 英樹, 田中 誠人, 川崎 佐智子, 須賀 佑磨, 山本 雄介,
田中 康仁. 整形外科. 71 卷 7 号 Page763-766 (2020.06)

24. 院内 CT,MRI 画像診断システムの限界 転移性脊椎腫瘍に関して

田中 誠人, 重松 英樹, 宮坂 俊輝, 城戸 顕, 川崎 佐智子, 須賀 佑磨,
山本 雄介, 田中 康仁. 臨床整形外科. 55 卷 8 号 Page955-959.
2020(2020.08)

25. 腰椎すべり症に対しXLIFによる間接除圧効果が得られず再手術を要した

1 例

池尻 正樹, 重松 英樹, 田中 誠人, 川崎 佐智子, 須賀 佑磨, 山本 雄介,
田中 康仁. 臨床整形外科. 55 卷 6 号 Page761-765(2020.06)

26. 頸椎症性脊髄症に対する椎弓形成術後後彎進行の臨床的意義と術前危険
因子

川崎 佐智子, 重松 英樹, 田中 誠人, 須賀 佑磨, 山本 雄介, 田中 康仁.
Journal of Spine Research. 11 卷 5 号 Page858-865(2020.05)

27. 術前の患者申告による既往歴から漏れ落ちる潜在性糖尿病ほどの程度存
在するか? 当院の脊椎手術症例データから

須賀 佑磨, 重松 英樹, 田中 誠人, 川崎 佐智子, 山本 雄介, 田中 康仁.
臨床整形外科 (0557-0433) 55 卷 4 号 Page371-374(2020.04)

28. 術腰部脊柱管狭窄症に対するロコチェックを用いた評価 間欠性跛行の

タイプ別比較

重松 英樹, 田中 誠人, 川崎 佐智子, 須賀 佑磨, 山本 雄介, 池尻 正樹,
田中 康仁. 臨床整形外科. 55 巻 2 号 Page195-197(2020.02)

29. 大阪医大式(OMC)側彎装具に対する患者アンケート調査

重松 英樹, 田中 誠人, 川崎 佐智子, 須賀 佑磨, 山本 雄介, 田中 康仁.
臨床整形外科. 54 巻 12 号 Page1287-1291(2019.12)

30. 運動習慣はロコモティブシンドロームと関係するか? preliminary study

重松 英樹, 宗本 充, 田中 誠人, 川崎 佐智子, 増田 佳亮, 須賀 佑磨,
山本 雄介, 田中 康仁. 臨床整形外科. 54 巻 6 号 Page609-612(2019.06)

31. 過去の報告とは異なる受傷機転で生じた鎖骨遠位端骨折(Rockwood 分類
type VI)の治療経験

須賀 佑磨, 奥田 亮宏, 平岡 修治, 吉田 淳, 前川 尚宜, 田中 康仁. 骨
折. 40 巻 1 号 Page85-88(2018.02)

32. 当院で施行した人工膝関節置換術後に生じた人工膝関節周囲骨折の治療
経験

須賀 佑磨, 奥田 亮宏, 田中 康仁. 骨折. 38 巻 3 号 Page723-727.(2016.06)

以上、主論文に報告された研究成績は、参考論文とともに運動器再建医学の進歩に寄与するところが大きいと認める。

令和5年3月7日

学位審査委員長

リハビリテーション医学

教授 城戸 顕

学位審査委員

スポーツ医科学

准教授 小川 宗宏

学位審査委員(指導教員)

運動器再建医学

教授 田中 康仁